

万松寺

はくび通信

第
2066号
26



変わりゆく「寺活」 体験してみるから身心を調えるために

かつてのお寺のように、訪れる方の心よりどころでありたいと寺子屋や坐禅会、写経会などのいわゆる「寺活」をはじめから早いもので10年が経ちました。おかげさまで、今では当時想定した定員をはるかに超える多くの方にご参加いただいております、感謝申し上げます。

思いおこせば寺活を始めた頃は、信仰を大切にするために仏教に触れる場が必要と考えていたように思います。ところが今では、参加された方が自分自身と向き合い、より良く生きるための気づきの場であったり、心を許して穏やかにホッとできる場でありたいと思っています。そのためにしきたりや作法にとらわれすぎることなく、だれもが楽しいひとときを味わってもらうことを心がけています。

きつかけづくり

万松寺の年中行事には、檀家さんや信者さんだけではなく、どなたでも参加しやすいようにと屋外で法要や祈禱を行うものがいくつかあります。また、本堂や諸堂で行うときも、扉を開けてできるだけ外から見えるようにしています。これは、お寺は閉ざされた場所ではなく、気軽に立ち寄れる開かれた場所だということを知っていたきたいからです。

行事のほかにも、住職による法話会の大人の寺子屋をはじめとして、坐禅会・写経会・写仏会・仏教勉強会などの講座を定期的に開催しています。また、ほかにも昨年のはくび通信でご紹介した、参列者も僧侶と一緒にお経を唱和する朝課やご自身で煎茶を淹れたり、抹茶を点てたりする寺力フェなど様々なきつかけをもとに、皆さまとのご縁をつなぎ、深めていきたいと思っています。

なお、今年も年頭に開催した書初め会やこれまで写仏会にご参加された方の作品を展示する「仏教講座展示会」を開催しますので、ご来寺いただくきつかけとなれば幸いです。



身心のよりどころを目指して

コロナ禍以降の「寺活」は、単に何かを体験をするというだけでなく、自分の身心を調えるために行う人が増えているように思います。その方法は、行事や講座への参加でも、仏さまに手を合わせるでも、おみくじをひくでも、自分に合えばなんでもいいのです。

万松寺は商店街の中にあるので山の中のお寺のような凜とした静けさに触れるのは難しいですが、反対にお買い物や散歩の合間などでもお立ち寄りいただけます。これといった特別なときだけでなく、何気ない日常の中のとふとしたときにも気持ちを軽くすることができ、場となるよう日々精進してまいります。

大人の寺子屋

万松寺住職との
気楽なお茶会

講師

万松寺住職 大藤 元裕

開催日

3月8日 4月5日

時間

10時半～12時

参加費

300円
(お抹茶・お菓子付き)

万松寺の仏教講座

坐禅会

毎週日曜日 9時～10時

写経会

毎月第2土曜日 16時～17時半

写仏会

毎月第1・3土曜日 16時～17時半

仏教勉強会

毎月第4土曜日 16時～17時半

参加費

500円

※行事などにより、日時・会場の変更や中止となる場合があります。

お申し込み・お問合わせ

WEB

万松寺 学び舎

電話

052-262-10735

この「はくび通信」ご持参にて
1回無料でご参加いただけます

仏教講座 展示会

3月13日(金)～23日(月)

写経会・書初め・写仏会に参加された皆さまの作品を展示します



住職の小囃



鏡に秘められた祈り

「鏡に映るのは、鏡の前にあるもの」と思っている方が多いのではないのでしょうか。

実は、一見するとただの鏡にしか見えないのに、光をあてることで「別のもの」が鏡の反対側に浮かびあがるといふ鏡が存在します。

今回はそんな不思議な鏡「魔鏡」についてお話しします。

■魔鏡の存在

魔鏡の起源については諸説ありますが、一説によると紀元前1世紀頃から存在していたとも言われています。日本で魔鏡にまつわる有名な話は、禁教令によってキリスト教が禁止された時代、迫害を受けていたキリシタンが密かに礼拝を行うために、崇拜するものを隠した装飾品の一種という話です。

切支丹魔鏡と呼ばれる魔鏡は、光をあけるとキリスト像やマリア像が浮かびあがります。また阿弥陀菩薩が誓願を立てたときの四十八の光を表現した像や南無阿弥陀仏という文字が浮かびあがるなど、仏教にまつわる魔鏡もいくつか現存しています。

そこにはないものが浮かびあがるとき、人々はその神秘さに魅了されるのかもしれない。

■万松寺の魔鏡

実は万松寺の諸堂を再建したときから、白雪稲荷の御神体として魔鏡をお祀りしています。その御神体に光をあけると、稲荷紋が浮かびあがりますが、普段は一般公開しておりませんので、稲荷紋を見ることはできません。ただ現在本堂2階の寺カフエ「間の間」の床の間に、龍が浮かびあがる魔鏡を展示しており、そちらはカフエをご利用いただいた方の目を楽しませています。



現在、伝統的な魔鏡を製作できるのは日本ではただひとりともいわれています。魔鏡が映し出す不思議な光景を味わってみてはいかがでしょうか。

万松寺住職

大藤 元裕

合掌

これからの行事

3/3 (火) 信秀忌

万松寺を建立した織田信秀（織田信長の父）の命日供養を営みます。

他にも、信秀の十一男・長益（有樂齋）を流祖とする武家茶道の有楽流宗家十七代家元・織田宗裕宗匠による献茶、信長幸若舞保存会による幸若舞の奉納が行われます。
どなた様もご自由に参列・焼香・鑑賞いただけます。
ご参列の方へは粗供養として記念書をお渡しいたします。



3/8 (日) 災害物故者追悼法要

震災などの災害で亡くなった世界の方を悼み、復興・再生への祈りを込めて、追悼法要を営みます。

3/21 (土) 初午会

稲荷の日である旧暦初午の日、白雪稲荷のご真前にて、五穀豊穰・商売繁盛の祈禱を行います。

3/22 (日) 23 (月) 春彼岸合同法要

彼岸（浄土）と此岸（現世）が近くなるとされる彼岸の時期に、追善供養を営みます。



4/5 (日) 花まつり

降誕会を祝い、花御堂（はなみどう）の誕生仏に甘茶を灌ぐ花まつりを行います。

4/8 (水) 降誕会

お釈迦様が花園でお生まれになった日に、誕生を祝い報恩感謝の法要を営みます。



4/23 (木) 春姫忌

尾張徳川家初代藩主義直公正室春姫の命日供養を営みます。

不動明王 毎月28日 緑日護摩

● 一 部 15時～16時半
二 部 19時～20時
● 車代わり餅つき18時～

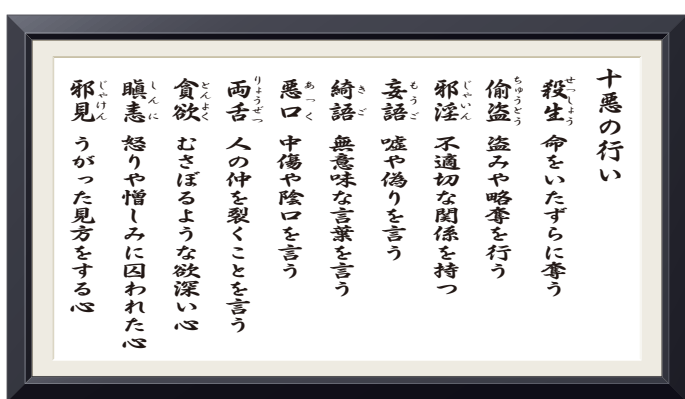
行事・祈禱・供養のお問合せ・お申込みは 祈禱受付 または 052-262-10735 にて承ります。（年中無休）

仏教の豆知識

【十悪と十善】

私たちは日々の中で思いがけず窮地に立たされることがあります。それは知らず知らずのうちに仏教で説かれる「十悪」の行いをしまっていることに原因があるかもしれません。

「十悪」とは、自分やほかの人を苦しめ、窮地に追いやってしまう十の悪行と説かれています。



十悪は、殺生や盗みのように倫理的に許されない悪行から、嘘や陰口のように身近に感じる悪行まで幅広く説かれています。

■連鎖しやすい悪

十悪というものは、ただ一つだけというわけではなくつながってしまう怖さがあります。例えばお金が欲しいという「貪欲」が強くなると、最近よく耳にする特殊詐欺のように「偷盗」や「妄語」の悪へとつながってしまうのです。そこまでの大事ではないと感じる陰口というような「悪口」ですが、実は相手への憎しみともいえる「瞋恚」からつながっているのかもしれない。このように、十悪の一つが別の十悪へとつながっていき、その結果多くの十悪の行いをしてしまうという可能性があるのです。

そんな大袈裟な：自分はそこまでやらない…。と思うかもしれませんが、SNSなど匿名性が高い世界では、偏見の目で見たり（邪見）、心無い言葉を浴びせたり（悪口）、偽りを装ったり（妄語）するようなことが数多く見受けられます。しかしそれらは、時として知らず知らずのうちに誰かを傷つけ、相手の受け取り次第では意図せず「殺生」へつながってしまうかもしれないのです。

次の項では、十悪を避けるための教え「十善戒」について、お釈迦様のあるエピソードを交えてお話しします。

■悪を知り自分を律する

私たちは、虫や植物を踏んでしまうなど意図せず「殺生」をしてしまうことがあるかと思えます。それはお釈迦様にも言えることです。しかしお釈迦様は、虫が多く出る時期には寺院に籠り、極力外に出ないで修行をするなどできる限り無益な殺生をしないように努めていたそうです。虫の生活を知り、命を尊重して、踏まぬように心がけるといふ姿は、優しく尊敬できるものです。

お釈迦様は、十悪を知り自分を律して、悪を避ける努力をするために、先に紹介した十悪に「不」という否定の接頭語を付けて指針としました。例えば「殺生」は「不殺生」（命をいたすに奪わない）といった具合です。そしてそれを「十善戒」として実践していたのだと思います。



悪を知り自分を律する日々を過ごせるようになると、人間関係においての無用な軋轢は生じず、お互いを認め合い助け合える関係を築くことができるでしょう。

因果の道理として説かれるように、原因があつて結果が生まれるのです。そして因果応報という言葉があるように、善いことも悪いこともいつか巡って自分に反ってくるのです。自分やほかの人を苦しめ、窮地に追いやるために「十善戒」を意識することから始めてみてはいかがでしょうか。

4月8日は、お釈迦様の誕生日

仏まつり

法要・甘茶かけ
ご生誕を祝う法要を営みます。子どもの姿のお釈迦様に甘茶をかけ焼香していただきます。

参加無料
(甘茶のふるまいあり)

花まつり祈禱
お釈迦様生誕のありがたい日にあやかり、皆様のご多幸を祈禱し木札をお授けします。

祈禱料 500円
(甘茶入りブレンドティーまたはジュース付き)

4月5日 日 時間 13:00~17:00 場所 不動堂前

Pick Up 万松寺

お土産屋 手土産にぴったりなオリジナル商品を一部ご紹介。

きなこクッキー

万松寺あられ

福あわせ(和三盆)

万松寺日記

◆年末年始の法要・祈禱

万松寺の行事の中でも、特に年末年始は多くの行事がありました。本年もたくさんの方々にご来寺いただきました。

❁ 除夜法会

■令和7年12月31日（水）



❁ 初詣大般若会

■令和8年1月1日（木祝）
2日（金）



❁ 正月合同法要

■令和8年1月2日（金）
3日（土）



❁ 初稲荷大祭

■令和8年1月6日（火）



❁ 昇龍焚き上げ

■令和8年1月10日（土）

正月飾り、古い御守・御札などを、読経と浄火により供養する「左義長」とともに、無病息災・家内安全などを祈禱する「特別護摩」おみくじで「凶」をひいた方の「凶運」が「吉運（強運）」となるよう加持祈禱を行いました。ご参拝の皆様には、甘酒と焼き芋を振る舞いました。



❁ 初不動護摩大祭

■令和8年1月28日（水）

身代不動明王のご真前にて、不動明王の初縁日の護摩焚きを行いました。また、多くの皆さまに分身護摩札と叶御守の授与や特別護摩修行を行いました。

❁ 節分会・星祭

■令和8年2月3日（火）

節分会を行いました。本堂で、七難即滅・七福即生の祈禱を行いました。あわせて不動堂で、星祭として、本命星と当年星がより吉勢となるように、除災招福の祈禱を行いました。



❁ 涅槃会

■令和8年2月15日（日）

お釈迦様が沙羅の木の下で亡くなった日に、遺徳を慕い報恩感謝の法要を営みました。



災害物故者追悼法要 炊き出し訓練

令和8年3月8日

万松寺では毎年3月に、災害物故者や被災動物の追悼供養と被災地の一刻も早い復興を祈念して法要を営みます。どなた様も予約なしでご参列いただけます。

- 災害物故者追悼法要
14:30 ～ 本堂
- 炊き出し訓練
15:00 ～ 境内



万松寺職員による、訓練を兼ねた「精進カレー」の炊き出しを行います。